

病害虫発生予察特殊報第2号

平成18年6月28日
三重県病害虫防除所

本県において、糸状菌*Pseudocercospora cymbidiicola* U. Braun & C. F. Hillによるシンビジウム裏すすかび病の発生が初めて確認されたので、特殊報として発表します。

- 1 病害名：シンビジウム裏すすかび病
- 2 病原名：*Pseudocercospora cymbidiicola* U. Braun & C. F. Hill
- 3 発生確認植物名：シンビジウム
- 4 発生確認地域：北勢地域

5 発生経過

平成18年6月1日に北勢地域の施設で栽培されているシンビジウムの葉裏面に灰色の斑点を示す被害株が、四日市鈴鹿地域農業改良普及センターを通じて三重県科学技術振興センター農業研究部に持ち込まれました。

このため同研究部において検定をしたところ、中島ら(2006)の発表した*Pseudocercospora cymbidiicola* U. Braun & C. F. Hillによるシンビジウム裏すすかび病であることが確認されました。本県では、これまで報告がありません。

本病害は、国内では平成8年に千葉県で初めて発見されました(中島ら1997)。その後徳島県でも見つかри、平成18年5月に病原菌名が確定しました(中島ら2006)。

なお、国外ではニュージーランドでの発生が知られています。

6 病徴

硬化葉の葉裏面には黒から褐色の斑点を生じ、後に灰色から黒色のかびが不定形に拡大します。また、葉表面には斑紋状または帯状の退緑が見られ、黒から褐色の斑点が生じます。



葉表面の退緑と黒色斑点



葉裏面の不定形のかび



分生子の顕微鏡写真



分生子柄の顕微鏡写真

(顕微鏡写真提供：三重県科学技術振興センター農業研究部)

7 感染経路

感染経路は不明です。

8 防除対策

現在、本病気に対する登録薬剤はありません。

9 参考資料

中島・小林・植松（1997）日本病物病理学会報 63:200-201.

中島・小林・植松・浦上（2006）関西病害虫研究会報 48：61-63.